

NWEC との出会い

埼玉県 ポトマック茶論・国際文化交流（生活の美学）

中島 正子（なかじま まさこ） 68歳

アメリカから帰国したら東京が息苦しく、埼玉の大宮に引越して来た。たまたま実家の別荘が欧米家具の入る家であったこと、畑や緑が多く「市民の森」公園や風車が何となくユネスコ村の昔のイメージが思い出されたからだ。

メリーランド州ポトマックに住んでいた為「ポトマック茶論」と名付けて、アメリカ人に日本の料理やお茶など文化交流のボランティアを長年していたので、大宮でも日本版国際文化交流を継続。そんな折 NWEC の存在を知り、初めは嵐山を京都と間違えたが埼玉とわかり、NWEC に毎年通った。情報フォーラムなど各国代表者のシンポジウムはじめ、数々のイベントに参加し、国内外の方達と知り合えたのは私の宝物。NWEC から直行して私の「ポトマック茶論」に見えた東南アジアのある教育関係所長の方、毎年男女共同参画の数多くの方達との意見交換やそれぞれの活動内容はお互いを刺激し合い充実した時間を共有できた。